

## 駅伝練習開始

春の『市町村対抗駅伝大会』に向けた練習が始まりました。例年4月下旬に行われる大会ですので、約5か月という長期にわたる練習期間となります。今年も走ることが大好きなメンバーが集まっていますので意欲満々です。男子2名女子2名の選手は、麻績村代表として出場します。今まで3年間の様子を見せてもらってきましたが、毎年「全力」のすばらしい姿でした。そして大会出場も去ることながら、たとえ選手にはならなくても、凍てつくような冬場とともに走り込んだり、仲間を応援したりする姿を見させてもらい、その尊さを強く感じさせてもらってきました。今年もまた麻績小「ワン・チーム」となっていくのでしょうか。黄色いユニフォームがたすきをつなぐ姿を楽しみに、これから5か月応援させてもらいます。



## 金管バンド入部式

3日（火）、4年生の皆さんを迎える入部式が行われました。

新部長5年高澤楓香さんからは、「いっしょに麻績小サウンドをつくっていきましょう」という力強い言葉が贈られました。中島先生からは、「児童会の当番活動などをきちんとできること、時間を守ってその後の活動に迷惑



をかけないこと、それができてこそその金管バンドです」というお話もありました。そして、「簡単に音が出るようになる楽器ではないけれど、でも続けていけば今の6年生のようなすばらしい演奏がきっとできるようになります」とも伝えられました。

わたしは、この会に6年生が皆参加してくれていることにまず感動しました。自分たちが2年間で身に付けたノウハウを4年生に伝えていってくれるのが6年生の皆さんであるから。そして自分たちも4年生のときに当時の6年生に優しく導いてもらったから。それは十分に分かっていたつもりです

が、やはりここに6年生がいてくれることは、何とも温かく、頼もしく、そして嬉しい。ありがとう6年生！

続いて、4年生からの『決意発表』がありました。「練習に遅れない」「途中であきらめない」「きれいな音が出るまでがんばる」などなど。

そして、ドキドキの「楽器発表」です。中島先生から4年生が担当する楽器の発表がありました。楽器体験期間中に教えてくれていた6年生からの「〇〇さんは、□□（楽器）がむいていると思う」といった意見も大いに参考にされたそうです。さすが、6年生。中島先生から、自分がこれから演奏する楽器のスコアをいただき、自分が今後お世話になる楽器のケースにネームプレートをつけて会が終わりました。

6日（金）からは、5年生は新曲『パプリカ』を新年度から4年生に教えることができるようになるための練習を始めます。4年生は、6年生の指導の下、「『こんにちはトランペット』が吹ける」「音階を正しく吹ける」ようになることを最初のめあてとして取り組むそうです。応援しています。



## 絵本読み聞かせ

読書旬間の取組の一つ、「絵本の読み聞かせ」（1・6年）がありました。

まず6年生が選んであった絵本を1年生に読み聞かせしました。6年生は前もって練習してくれていたのでしょう。絵本の見せ方やめくり方がとてもさまになっていて、1年生が吸い込まれるように聞き入っているのが印象的

でした。6年生の後には、1年生が国語の『くじらぐも』をお礼に音読しました。同様に、2・4年生、3・5年生間でも相互の読み聞かせを行います。

お昼には毎日、『おはなし献立』給食をいただいています。2週間もの間、『おはなし献立』が続く学校が麻績小学校以外にあるとはとても思えません。学校中で大切にしている読書旬間です。そして、

もう一週続きます。この土日曜日にも、ぜひじっくりと本の世界に浸ってほしいです。

